



# その人の人生を尊重して支援する

新型コロナや物価高騰の影響で、経済的に困窮したり、生活が不安定になったりしている人が増えています。生活に困っている人を支援している寺崎繁さんに聞きました。

## 生活に困窮する理由はさまざま

平成 27(2015) 年から「越冬の会」に参加しています。65 歳を過ぎて、ある日「あと 10 年は何か頑張ろう」と思い立ちました。会の存在をインターネットで見つけ、参加し始めました。

会は、炊き出しやパトロールのほか、一時的な住まいの確保や生活保護申請の手助けなどを行っています。週に 3 回、市役所の地下 1 階で相談も受けています。

公園などで生活する、いわゆるホームレスの人は少なくなりました。でも、日々の生活に困っている人は増えていると感じます。新型コロナの影響で失業した人や、家族関係の悪化で家を出てネットカフェなどで寝泊まりするなどしている人が多いようです。

「少しでも力になれたらと思って支援しています」と語る寺崎さん



寺崎繁さん

NPO 法人「ホームレス支援久留米越冬活動の会」理事長。生活に困っている人の生活や自立に向けた支援を行っている

## 相手によって態度を変えない

支援するときは、過去や貧困に至った経緯を細かく聞き出すことは極力しません。言いたくない、言えないこともあります。その人の人生を尊重して支援することを心掛けています。

もうひとつ心掛けているのは、相手によって態度を変えないこと。お金や地位があるから偉い、貧困だから何を言ってもいい、ではないんです。「支援してあげている」ではなく「支え合っている」という気持ちで接しています。

実は、私も働いていた頃の苦い経験があります。お客さんからの電話を業者からの営業電話だと思い、ぞんざいな態度をとり、相手を不快にしてみました。私の中にある差別意識に気づいた出来事で、今も戒めとしています。

## 無関心にならず、自立に向けた支援を

生活に困っている人を「自業自得だ」とか「頑張りが足りない」と思う人もまだまだいます。学生が、河川敷に住んでいるホームレスに橋の上から石を落とした事件もあったと聞きます。

自分のベストを尽くして自立しようとしている人を軽く見たり、無関心になったりしないでほしい。自立に向けた再出発にほんの少しでも力をお貸してほしいですね。

◎生活支援第 2 課

(☎0942・30・9023、FAX 0942・30・9710)

# カラオケや軽い運動で仲間と楽しく過ごす

老人クラブ加入者募集



久留米市には、身近な地域ごとに 253 の老人クラブがあります。おおむね 60 歳以上の人が集まり、健康づくりや生きがいづくりなどを目的に活動中です。カラオケやグラウンドゴルフ、脳トレ、子どもとの交流や登下校時の見守りなど多彩。仲間と過ごす活動が人気です。各種発表会や展示会もあります。加入や問い合わせは、市老人クラブ連合会 (☎0942・39・1550、FAX 0942・65・7250) へ。受け付けは月曜から金曜の 9 時から 17 時まで。◎長寿支援課 (☎0942・30・9207、FAX 0942・36・6845)

## 参加者にインタビュー

### 活動する日が待ち遠しい

高良内校区老人クラブ連合会のカラオケ同好会「スマイル」に参加している丸山静香さんは「友達と話したり、歌声を聴くのが楽しい」と笑顔。

グラウンドゴルフにも参加している大坪康子さんは「運動しないと足腰が弱るので、週 3 回活動をしています。開放的な気持ちになるのでおすすめです」と話しました。



カラオケを楽しむ丸山さん(右)と大坪さん。2人とも 90 歳を超えています。元気で

## 流域治水シリーズ③ 田んぼダム



子ども調査隊が、大雨に備える取り組みを全 6 回シリーズで紹介します

# 田んぼに水を貯めて防災

大雨や台風が増えたよね。久留米市は、雨水を一時的に田んぼにためて、ゆっくり流す「田んぼダム」という取り組みをしているよ。農家と一緒に防災を進めているんだ



農村森林整備課 山崎まみさん



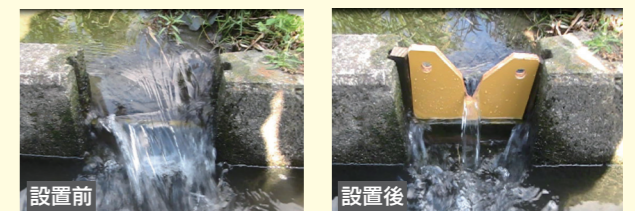
子ども調査隊

へー。知らなかった。どのくらいの雨をためられるんですか

1ヘクタールに雨水を深さ 10cm 分ためると、25 m プール約 36 杯分になるんだ。去年は全部で約 340 杯分になったよ



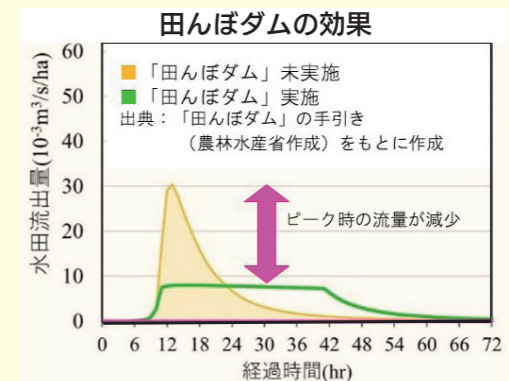
すごい量ですね。もっと田んぼダムが増えたらいいなあ



設置前

設置後

田んぼの排水口に V 字型の板などを設置して、水路に流れる水の量を減らしています



木製の板で手作りも OK



◎農村森林整備課

(☎0942・30・9166、FAX 0942・30・9717)